

2006年

**5**  
月号

# 組合会報

(発行所)  
**埼玉県鍍金工業組合**

〒331-0811

さいたま市北区吉野町2-222-7

TEL 048(666)2184

FAX 048(652)7631

(発行人・理事長)

吉田 勇

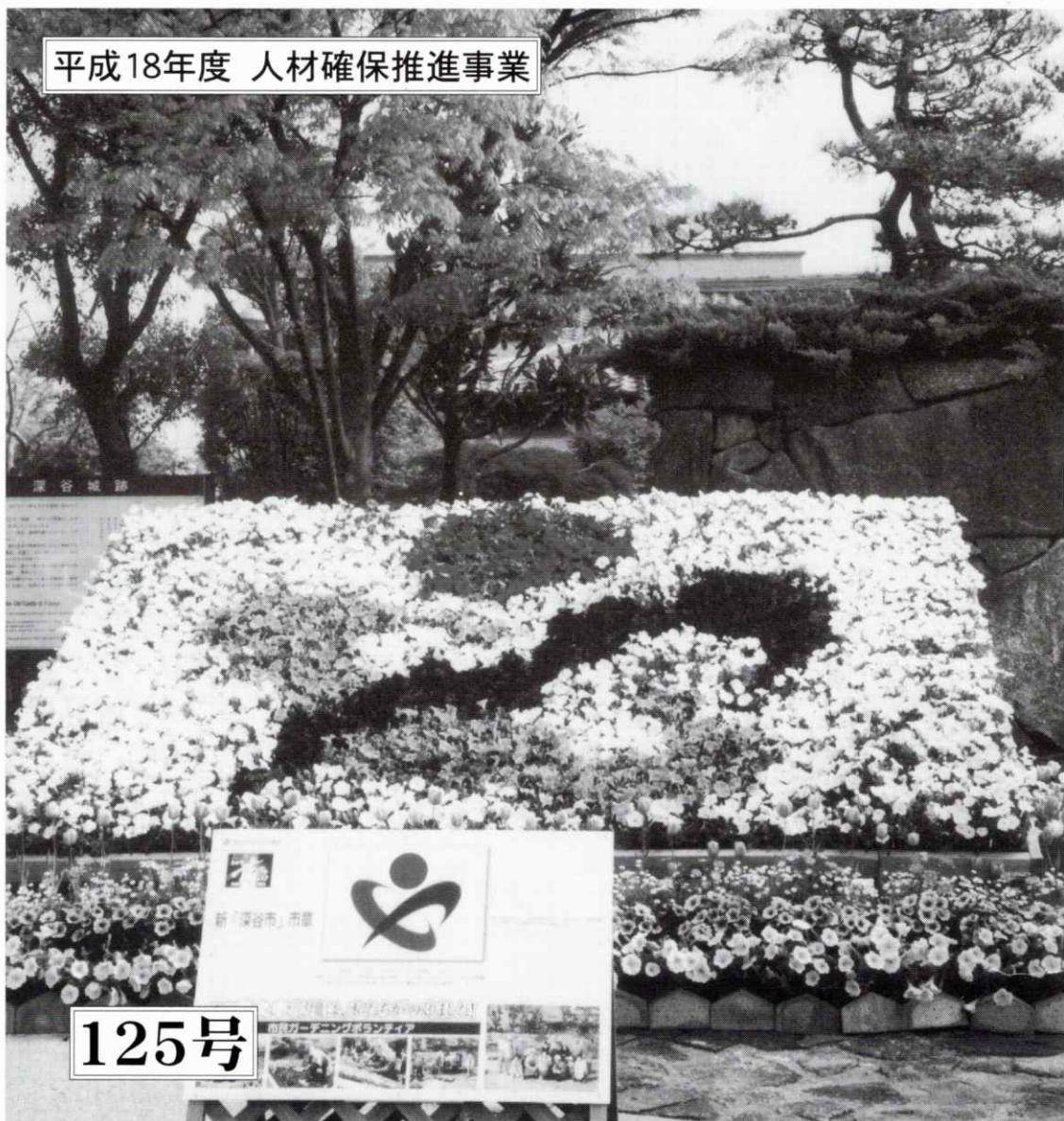
(編集人・総務委員長)

柿沼 信夫

## —今月号の主な内容—

平成18年 新春賀詞交歓会	2	埼玉県鍍金業 人材高度化研究会	9
めつき技術競技会と優良事業所表彰式	3	パソコンセミナー開催	9
旭日双光章受章記念祝賀会	7	雇用管理実態調査及び経営者意識調査報告	10

## 平成18年度 人材確保推進事業



(ふかや花フェスタ(深谷城址公園))

平成18年

# 新春賀詞交歓会



埼玉県鍍金工業組合（吉田勇理  
事長）は平成18年1月24日（火）  
午後2時よりさいたま市大宮サン  
パレスに於て同組合員、来賓多数  
出席して恒例の賀詞交歓会を開催  
した。

柿沼信夫総務委員長の司会で始  
まり、野口武副理事長の開会の挨  
拶につづき、主催者を代表して吉  
田勇理事長は次のように挨拶した。

柿沼信夫総務委員長の司会で始  
まり、野口武副理事長の開会の挨  
拶につづき、主催者を代表して吉  
田勇理事長は次のように挨拶した。

『本年は既に幾つかの賀詞交歓  
会に出席させて戴きましたが總じ  
て明るい雰囲気であつた。

景気が回復基調にあるというア  
ナウンス効果によるものと思うが  
私達中小企業にとつてはいまひと  
つ実感がわかないと言ふ事が本音  
かと思う。だがこの10年間で三つ  
の過剰といわれた設備、雇用、債  
務の過剰もだいぶ整理され、政府  
発表の経済成長率2パーセント予  
測といったことで明るい環境にあ  
る事も実態かと思う。

反面原油、天然資源といったと  
ころの値上り、国内での増税気運  
といった景気にマイナスとなる要  
因もあり楽観は禁物である。

埼玉県はこのところ企業誘致に  
力を入れており、昨年は80社強誘  
致に成功し、今年も100社を目指す  
としているようではある。しかし、  
大いに期待している。なかでも製  
造業は今世界で再認識されて  
おり、大いに期待している。

柿沼信夫総務委員長の司会で始  
まり、野口武副理事長の開会の挨  
拶につづき、主催者を代表して吉  
田勇理事長は次のように挨拶した。

『本年は既に幾つかの賀詞交歓  
会に出席させて戴きましたが總じ  
て明るい雰囲気であつた。

景気が回復基調にあるというア  
ナウンス効果によるものと思うが  
私達中小企業にとつてはいまひとつ  
実感がわかないと言ふ事が本音  
かと思う。だがこの10年間で三つ  
の過剰といわれた設備、雇用、債  
務の過剰もだいぶ整理され、政府  
発表の経済成長率2パーセント予  
測といったことで明るい環境にあ  
る事も実態かと思う。

反面原油、天然資源といったと  
ころの値上り、国内での増税気運  
といった景気にマイナスとなる要  
因もあり楽観は禁物である。

柿沼信夫総務委員長の司会で始  
まり、野口武副理事長の開会の挨  
拶につづき、主催者を代表して吉  
田勇理事長は次のように挨拶した。

『本年は既に幾つかの賀詞交歓  
会に出席させて戴きましたが總じ  
て明るい雰囲気であつた。

景気が回復基調にあるというア  
ナウンス効果によるものと思うが  
私達中小企業にとつてはいまひとつ  
実感がわかないと言ふ事が本音  
かと思う。だがこの10年間で三つ  
の過剰といわれた設備、雇用、債  
務の過剰もだいぶ整理され、政府  
発表の経済成長率2パーセント予  
測といったことで明るい環境にあ  
る事も実態かと思う。

古来より日本は瑞穂の国として  
いた本も出ているようである。一時  
は空洞化という事で日本の製造業  
の危機感が叫ばれた時期がありま  
したがいまは「ものづくり」で頭  
一つ世界をリードしている。

唐津一先生がよく日本の「もの  
づくり」の強さで引き合いに出す  
のが鉄鋼業であります。一トンの  
鋼をつくるのに要する石炭量は日  
本では0.6トン米国では1トン。中国  
にいたつては1.8トンを要するとの  
事である。又、特許取得件数につい  
ても世界のベスト10に日本企業が  
8社入っており特許の国際収支も  
日本に支払われる特許料よりも外国から  
約2倍強と圧倒的力をつけている。

『ものづくり』の一端を担う我  
々めつき業界としても自信と誇り  
を持つてよいと思う。

次に来賓祝辞に入り、上田清司  
県知事（代理）埼玉県産業労働部副  
部長内田千美様統いて埼玉県議会  
議員奥ノ木信夫様、埼玉県産業技  
術総合センター総長遠藤勲様、さ  
いたま市環境部企画監吉永洋治様、  
全国鍍金工業組合連合会会長大村

功作様、埼玉県中小企業団体中央会会長大久保政一（代理）情報部長宇佐美幸広様とそれぞれ新春を讃える祝辞を述べた。

衆議院議員小島敏男（代理）小島正泰様が紹介されたあと祝電が披露され島村常任顧問理事と全国鍛金工業組合連合会布袋屋皓造専務理事と両氏の乾杯で祝宴に入り、和氣あいあいのうちに懇談し、山本正宏副理事長の閉会の挨拶で終了し散会した。

## 平成17年度 埼玉県めっき技術競技会と 排水管理優良事業所表彰式

埼玉県鍛金工業組合（吉田勇理事長）は平成17年度埼玉県めつき技術競技会並びに排水管理優良事

業所表彰式及び講演会を平成18年2月9日（木）大宮国体記念会館において開催した。



第一講演では「夢の時速500kmを体験して」と題して組合員の（有）明光社代表取締役石下一明氏が次のように講演された。

「平成17年6月より山梨県の実験線にてリニアモーターカー試乗の招待を受け時速500kmを体験してまいりました。

将来東京大阪間に時速500kmで走行する超電導磁気浮上式リニアモーターカーを導入し約1時間で結ぶ構想です。

リニアモーターカーは超電導磁

石を搭載し、ガイドウェイに取り付けられた地上コイルとの磁石相互通により約10cmほど浮上して走行します。実験線先行区間18・2kmの内、開放部2.4kmをわずか8秒で駆けぬける早さはあつという間で、車内は新幹線よりやや狭い感じがしましたが、椅子はリクライニング式でかなり楽で、乗り心地は快適でした。私共がリニアと関わったのは1991年12月からですが、当時納期限があと1ヶ月という時点で、大型でしかも複雑な形のステンレス製の内槽容器に700μ（ミクロン）の硫酸銅めつきを施すという注文を受け、作業員を4名増強し、なんとか間に合わせました。

作業は均一に銅めつきをつけるため補助陽極を使い、得意先の要求を満たすことができました。その後10年間で乗車車両20両の銅めつきをしました。

現在10両走行中ですが当社のめつきによるもので埼玉県のめつき技術力が高く評価されたことは有難いことと感じております。

又一日も早くリニア中央工キス

プレスが実現することを希望する

学博士星野重夫氏より「表面処理における6価クロム問題」について講演が行われた。内容は次の通りである。

### 1 6価クロムフリークロメート処理の代替技術

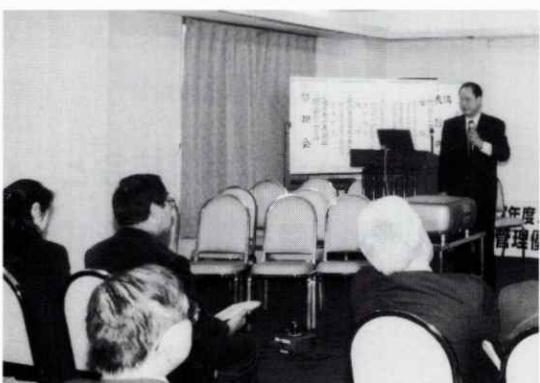
クロメート処理は亜鉛めつきの後処理などに広く用いられているが、欧州のRoHSやELV指令を受けて6価クロムを含む化成処理の使用を中止する動きが進んでいる。

代替技術としては3価クロム塩を用いたものとモリブデンやタンゲステン塩、ジルコニウム、セシウムをベースとした化成皮膜およびこれと有機コーティングを組み合わせた処理法が開発され実用化されるようになりました。アルミニウムのクロメート処理はアロジン法として知られ、広く使われて来た。

この代替技術には3価クロムにりん酸とボリアクリル酸を加えたものと、クロムを含まないジルコニ

ーと共に皆様もリニアファンクラブに入りぜひ実験線で夢の500kmを体験してください。」と述べた。

ウム系やチタン系、コバルト系があるが性能的には少し劣るようである。



## 2 金属クロムの腐食と6価クロム問題

6価クロムを使わないクロムトは我が国ではクロムフリーと短縮して呼ばれてクロムめつきに関する人たちに混乱を与えた。グリーン調達の観点から提起された主な疑問点は次の3項目に別けられる。(1)6価クロム浴を使用して生産されるクロムめつきは規制の対象になるのか、(2)クロムめつき

には6価クロムが付着または含有されているのか、(3)クロムめつきは腐食して6価クロムになるのか。①についてはEUのRoHS指令でも製品に含まなければ問題なしとしている。②③については(社)腐食防食協会腐食センター(ニュースのNo.033(<http://www.corrosion-center.jp/>)に特集されているように、クロムめつき皮膜には6価クロムは含まれず、めつき後に水洗を適切に行えば6価クロムは付着しない。また、クロム金属は通常の腐食環境では6価ではなくて3価クロムとして腐食することなどが明記されている。

次に腐食で生じた3価クロムが6価クロムに替わる問題である。

3価クロムは安定であり通常の

環境では6価クロムにならないが200°C以上に加熱すると極く一部が6価クロムになることがわかつている。金属の腐食には湿食と乾食があり、前者は水の存在で起こり後者は高温腐食である。100°C以上では水分は無く湿食はおこらないので、クロムやクロムを含むステンレスが腐食して6価クロムにな

ることは無いと考えるのが妥当であろう。また、乾食に関してはクロムやステンレスは他の金属に比べて安定であり、高温での耐熱金属として使われているので6価クロム生成の心配はない。

**3 クロムめつきと6価クロム問題**  
めつき液として高濃度の6価クロムを使うクロムめつきではめつき皮膜そのものには6価クロムは含まれていないが、めつき作業員の健康の観点から、クロムめつき中に発生するミスト量の規制値が厳しくなり、6価クロムを使わないクロムめつきやその代替技術に関心が寄せられている。6価クロムを使わない硬質クロムめつきの代替技術として次のようないくつかある。

### (1) 3価クロム浴

装飾用の6価クロムめつきの代替技術としては前述のように3価クロムめつき浴が既に実用化されているが、硬質用の3価クロム浴は前述のように現在も開発中であり、近い将来には実用化されるものと思われる。しかし、3価クロム浴からのめつき皮膜の物性は6

価クロム浴からのものと若干異なるので、これまでの6価クロムからの総ての硬質クロムめつきの代替技術とはならない可能性がある。

**(2) 合金めつき**  
めつき皮膜中に炭素やほう素、燐、タングステン、モリブデンなどが共析すると硬さが向上することが知られており、これらの元素を含む合金めつきは非晶質構造を示すものや熱処理により硬化するものが多。Ni-B、Ni-Pめつきは電解や無電解法で容易に得られていが、何れも通常のニッケルめつきより硬く、熱処理により硬化することがかなり以前より知られている。Ni-W-P合金めつきはクロムめつきより耐摩耗性に優れめつきより硬く、熱処理により硬化することがかなり以前より知られている。Ni-W-P合金めつきはNi-WめつきはW含有量を増し、熱処理すると通常のクロムめつきよりも硬く高温に強い皮膜となる。

**(3) 複合(分散)めつき**  
複合材料の発展は航空・宇宙関係をはじめ多くの産業分野に大きな貢献をしている。めつきの分野でも、分散強化皮膜の作成と云う観点から研究が進められ、種々の

特性を有するめつき皮膜が開発されて大きな成果を収めている。こ  
クスであるめつき金属を選んで選  
べれば、種々の機能皮膜を創製す  
ることができるので各国で活発な  
研究開発がおこなわれている。

#### (4) 高速ガスフレーム溶射法

高速ガスフレーム溶射法(HVOF)の技術は基本的に非常に単純である。溶射用のスプレーランから水素またはアセチレン、天然ガス、灯油などの燃料と超音速の炎を作り出すための高圧の酸素が供給され、粉末の粒子はスプレーの先端から音速の炎で溶射される品物に当たつて皮膜を形成する。

溶射に用いられる最も一般的な粉末は炭化タンゲステンとコバルトでありクロムが添加されることもある。超高張力鋼で出来た航空機部品用の溶射皮膜としてはWC-17Co及びWC-10Co-4Crが硬質クロムめつきの代替として推奨されている。

#### (5) 気相めつき法

気相めつきの分野ではTiCやTiN、TiCN、ダイヤモンド、DLC(ダイヤモンドライカーボン)、

BNなどの超硬質皮膜の成膜法が一般化され、多くの分野で活用されている。これらの皮膜は適用できる素地の問題をはじめ、コスト的または装置的な制約から利用できる品物に限界があり、湿式法とはそれなりに使い分けられている。

#### 4 6価クロム汚染土壤問題

めつき工場が廃業すると土壤調査が義務付けられている。この時に6価クロムが規制値以上に存在すれば汚染土壤に指定され、詳細調査に移り汚染の状況を明らかにして浄化作業に入る。しかし、3価クロムは規制物質ではないので最初の調査の対象にはならない。

浄化には種々の方法があるが6価クロムの場合には掘削して洗浄するか、客土する以外に有効な浄化法は無い。ここで土壤中の6価クロムを3価クロムに還元しても環境庁では不溶化処置と解釈し、6価クロム汚染土地の指定解除は行わないよう通達を出している。このため最初の土壤調査の時に6価クロムが存在しないように、操業時から土壤浄化に心がける必要があろう。

### 表彰式

らしい経済構造になつて来たのかと思つております。

一時は情報産業だ、IT産業だ  
と云われて製造業の影が薄かつた  
時もありましたがここにきて世界  
が再度日本のものづくりを見直し  
て来ております。

#### 恒例のめつき技術コンクール

並びに排水優良事業所表彰式にあたり県並びに関連ご来賓の皆様ご出席のもと挙行できますこと厚く御礼申し上げます。このところようやく日本経済も復活の兆しを見てきましたが、なかでも製造業の頑張りが目につきます。自動車をリーダーとして電気業界も業績を上げて來ており、ようやく日本本固有の中核企業体が他の国と異なり高い技術を保有しているところに強さがあり、その技術も技能に裏打ちされたもので世界に誇れるものであります。

めつき技術コンクールは決して華やかな事業ではありませんが、めつきも技術を支え進歩される上での大切な基礎技術という技能育成の場であります。

こういった事業を40数年継続して來たところに日本の中小企業が他の国より秀でているところだと思つております。



又、環境問題につきましては相  
変わらず次々と規制がしかれる状況  
にあります。本年はおそらく亜鉛

平成18年5月25日

の排出規制値が決まるものと思われます。聞くところによると水生生物保護のための排水規制を審議する環境庁傘下の審議委員会には産業界が入っていないと聞いておりますので厳しい規制が施かせる恐れがあり、全鍍連としても経済産業省と通じ、実態に即応した規制を行なう働きかけを行っているところであります。本日受彰されました優良事業は業界の模範であることは当然でありますが、行政におかれましても無事故、無違反がいかに大変な事であるかをよく理解され、この度も知事より感謝状が授与されます。

遵法精神（コンプライアンス）をいかに持つていても無事故を維持するには大変な努力を要します。そういう点でこの度の知事感謝状は組合員の意欲の向上に大きく寄与するものと思います。本日受賞されました皆様に心より祝意を申し上げ又増々のご勉励をご期待申し上げます。」

続いて、来賓の祝辞は、埼玉県環境防災部長荻野正夫氏、埼玉県産業技術総合センター研究所長白山琢持氏、埼玉県中小企業団体中央会会长（代理）根本修一の各氏

が述べて表彰式に入った。  
平成17年度埼玉県めっき技術競技会表彰式の経過報告は技術教育委員長の今井昭雄氏よりおこなわれ、浅川和昭氏の講評で以下の各事業所が表彰された。技術教育副委員長黒澤久氏より各賞が発表され別に表彰状と記念品が授与された。（別表1）

続いて、平成17年度排水管理優良事業所表彰式が行なわれ、排水管理優良事業所の経過報告を環境保全対策委員長大塚一弘氏より次いで今田三郎委員より受賞事業所が発表された。なお（有）小林鍍金工業所（第5支部）が11年連続で排水処理において無事故無違反の表彰を受け埼玉県知事より感謝状をいただき、会場から盛大な拍手が送られた。以上2つの表彰式の後、めつき技術競技会および排水管理優良事業所の受賞企業を代表して（有）池澤鍍金工業所の高岡彰次氏が謝辞を述べた。最後に山本副理事長が閉会の辞を述べて表彰式を終了し、会場を別室に移して懇親会を開催した。尚、平成17年度排水優良事業所として表彰された事業所は次の通りである。（別表2 次頁）

（別表1） 平成17年度（第48回）埼玉県めっき技術競技会審査結果

部 門 表彰区分	装飾用 クロムめっきの部	亜鉛めっきの部	工業用 クロムめっきの部	バレルめっきの部
埼 玉 知 事 賞	株甲斐野テックス 川越市志多町17-14	㈲池澤鍍金工業所 草加市吉町4-1-27 ※有色	吉野電化工業株 越谷市越ヶ谷5-1-19	押尾化学工業㈲ 横瀬町横瀬5765-8
埼 玉 県 産 業 労 働 部 長 賞	株サニ一電化 戸田市下笛目116	昭和鍍金株 草加市稻荷1-10-25 ※光沢	川口ハードクロム工業㈲ 川口市弥平1-18-1	株古河電鍍 上尾市領家1152-30
埼玉県産業技術総合センター総長賞	㈲今井メッキ工業所 三郷市新1-187-1	㈲池澤鍍金工業所 草加市吉町4-1-27 ※光沢	株精硬クローム工業 川口市東領家4-18-10	カツデン株 草加市稻荷2-3-1
埼玉県中小企業団体中央会長賞	㈲小林鍍金工業 川口市領家5-13-22	押尾化学工業(有) 横瀬町横瀬5765-8 ※有色	ダイヤ技研株 戸田市笛目北町12-4	株小林鍍金工業 さいたま市中央区下落合1087
埼玉県鍍金工業組合理事長賞	小松原鍍金工場 熊谷市銀座3-112	マエダ鍍金工業(有) 川口市朝日4-21-62 ※有色	新硬クローム工業㈱ 鳩ヶ谷市南3-18-18	㈲朝日メッキ工業所 鴻巣市市ノ繩119
日本工業新聞社 賞	㈲坂寄鍍研精工 鳩ヶ谷市南6-17-40	株サン化学 熊谷市石原1721 ※有色		
産 業 通 信 社 賞	㈲高橋電鍍工場 戸田市下戸田2-16-4	株古河電鍍 上尾市領家1152-30 ※有色		

(別表2) 平成17年度排水管理優良事業所(平成16年10月~平成17年9月)

連続年数	表彰事業所	連続年数	プレート授受事業所	連続年数	プレート授受事業所
11年以上	埼玉県知事感謝状 有小林鍍金工業所	第1支部 2年連続 5年連続	株サニー電化 新田興業株	第5支部 22年連続 1年連続	株イシワタ有 有池澤鍍金工業所
6年連続	埼玉県環境部長感謝状 精硬クローム工業株			7年連続 11年連続	五光鍍金工業有 有小林鍍金工業所
5年連続	埼玉県鍍金工業組合理事長表彰状 新田興業株 双葉硬質クローム工業所 栄電子工業株	3年連続 3年連続 4年連続 2年連続 8年連続 2年連続	南大松表面化工所 株甲斐野テックス 株島崎鍍金 日新電化株 光陽金属工業株 三善公業株	1年連続 2年連続 2年連続 第6支部 2年連続 2年連続 8年連続 25年連続 2年連続 2年連続	株安藤化成 埼玉事業所 吉野電化工業株 第1工場 兼松精鍍工業有 株大宮鍍金工業 本社 株大宮鍍金工業 吉敷
		第2支部 2年連続		2年連続 2年連続 2年連続 2年連続 2年連続 2年連続	株小林鍍金工業 仁科工業株 株東工業 兼松精鍍工業有 株大宮鍍金工業 本社 株大宮鍍金工業 吉敷
		第3支部 2年連続 2年連続 5年連続		25年連続 2年連続 2年連続	株北鍍金 有坂寄鍍研精工 有明光社
				第7支部	
		第4支部 1年連続 1年連続		6年連続 6年連続 2年連続	精硬クローム工業株 第1 精硬クローム工業株 第2 有堤北鍍金
				1年連続 2年連続	有坂寄鍍研精工 有明光社

## 旭日双光章

### 受章記念祝賀会

島村周作氏

この喜びを是非、業界のみならず、島村さんの関係者の皆様と共に祝いしたいと祝賀会を企画し、声をかけさせていただきました。

本日ご来席の皆様のご健勝とご多幸を祈念致し、重ねて厚くお礼申し上げます。

続いて大塚一弘常任理事より、功績が披露された。

埼玉県鍍金工業組合(吉田勇理事長)は平成18年3月3日(金)パレスホテル大宮において島村周作氏旭日双光章受章祝賀会を盛大に開催した。千川原純子さんの司会により始められ、開会の辞を野口武副理事長より続いて発起人を代表して埼玉県鍍金工業組合吉田勇理事長が次のように挨拶した。

「本日は島村周作氏の旭日双光章受章祝賀会開催にあたりご多忙の中のなか、国会議員の先生、前埼玉県知事、中央から経済産業省、全国鍍金工業組合連合会、日本硬質クローム工業会、島村氏の友人知人など大勢のご来駕により、このような盛大な祝賀会が開催できましたことを厚くお礼申し上げます。島村氏は昨年秋に旭日双光章を受章されました。ご本人はもとより私ども組合員一同にとりましてこのうえもない喜びであります。



ご来賓祝辞

土屋義彦元参議院議長、埼玉県知事(代理)内田千美環境部次長、経済産業省製造産業局次長塙本修、

平成18年5月25日

さいたま市長相川宗一（代理）岩木弘助役、さいたま名譽市民新藤享弘、全国鍍金工業組合連合会会長大村功作各氏より祝詞があり、続いて記念品贈呈に移り、埼玉県鍍金工業組合吉田勇理事長、全国鍍金工業組合連合会会長大村功作氏、日本硬質クロム工業会藤田茂雄会長、埼玉県鍍金工業組合柿沼信夫第6支部長よりそれぞれ贈呈された。

ましい様子でした。  
島村周作氏より、次のような謝辞が述べられた。

「本日受章祝賀会に公私とも忙しいなか、大勢の皆様にご臨席賜わり又、数々の身に余るお言葉を賜わり厚くお礼申し上げます。本日ご臨席いただいた皆様は私がいろいろな面で大変お世話になつた方々ばかりです。実は私子供の頃は大変病弱で、内向的で余り正面に出たがらない性格であった。こう言うとオヤと思われるかもしれないが、本日小学校時代の恩師がお見えになつてゐるので聞いていただけれどその通りだと納得していただけると思う。そういうつた私

が業界始めいろいろなところで活躍できたのは、皆様方の暖かいご支援ご協力があつたからで重ねて厚くお礼申し上げます。私は戸籍上は次男で、両親からすれば、今までう過保護で育ち、その面ではわがままなところがあり、成人してから外に向かつてはその性格が出ないよう努力したつもりだが、家に帰つたときは典型的な亭主関白で、女房がよく今までつたと

第一回式典の閉会の挨拶を日本硬質クロム工業会藤田茂雄会長より続いて第二部祝宴の挨拶を埼玉県鍍金工業組合山本正宏副理事長より、そして鏡開きが行われ、

### ①の樽は

経済産業省製造産業局非鉄金属課

課長中山亨氏、埼玉県議会議員、

埼玉県鍍金工業組合顧問奥ノ木信夫氏、華林山最勝院住職大僧正鷺尾慶範氏、大宮法人会会长樋爪龍太郎氏、埼玉県中小企業中央会会長大久保政一氏、埼玉県産業技術総合センター総長遠藤勲氏、日本表面処理機材工業会副会長後藤安邦氏。

### ②の樽は

全国鍍金工業組合連合会名譽顧問

島村周作氏のお孫さん理紗子さん、恵理子さん、泉樹君、石坂遼君より、花束贈呈が行なわれ、会場から盛大な拍手をうけ大変微笑



感じている。私は今だかつて女房にご苦労様ひとつ言つたことがない。私も70歳になつたのでそろそろ年貢を納めなければならないかと、あらためて女房に感謝の気持を伝えたいと思っている。このよう

うに盛大に祝賀会を開催させていただき、発起人のかたがたが始めたときのご健勝ご多幸を衷心よりご祈念申し上げます。」

司会より「よいしょ」の合図で鏡開きとなつた。続いて乾杯の音頭を経済産業省製造産業局非鉄金属課長中山亨氏が行い、弦楽四重奏が演奏の中、なごやかな祝宴に入つたのち奥ノ木信夫代表始め全鍛連副会長鈴木喜代壽氏、宮阪東明氏、清川忠氏、笛間則文氏とともに万歳三唱をした。埼玉県鍍金工業組合小林満専務理事が閉宴の辭を述べた。



渡辺辰巳氏、同草間英一氏、同山崎五郎氏、同常任顧問石井博氏、同渡邊正勝氏、同笠野不二夫氏、同専務理事布袋屋皓造氏、同前専務理事上野顯三氏。

## 埼玉県鍛金業 人材高度化研究会

平成18年2月23日（木）午後2時～4時より

（独）雇用能力開発機構埼玉センター3階会議室において埼玉県鍛金人材高度化研究会（第3回）が開催された。

『出席者』

埼玉県鍛金工業組合

野口武副理事長、小林満専務理事、柿沼信夫総務委員長、仁科俊夫総務副委員長、埼玉県立職業能力開発センター高橋政衛担当部長

『内部委員』

（独）雇用能力開発機構埼玉センター

佐藤良一統括所長、中牟田誠業務第一課長、水野新訓練課調査役

事務局 桜井、田村  
『配布資料』

①平成17年度人材高度化研究会  
(第3回)

②第1回、2回討議記録

③埼玉県鍛金工業組合案内（パンフレット）

- ④埼玉県鍛金工業組合加入ご案内
  - ⑤パソコン研修アンケート集計結果（ワープロ、インターネット）
  - ⑥機構HP抜粋【能力開発ツール】
  - ⑦Seminar Guide 2006（機構）
  - （独）雇用能力開発機構佐藤良一統括所長より次のように挨拶された。
- 「昨年7月より第1回会議から始まって本日で第3回目となりました。昨年のパソコン研修をもつて予定通り各コースが終了したということでお協力感謝いたします。本日はこれまでの成果や問題点等について皆様忌憚のないご意見をお願いしたい」 続いて第1回、第2回の討議内容の確認を中牟田誠業務第一課長よりありました。

そのあと、実施コースの説明を小林専務理事より話された。（環境対応型経営コース、リスク管理コース、製品に対する環境安全コース、情報処理コース）特記事項「環境対応型経営コース」及び「製品に対する環境安全コース」は企業の関心も高く出席率も良い。特に環境安全コースはほぼ全組合員が出席という状況です。

「リスク管理コース」は顧客の

要求状況により組合員の中でも差があると考えられる。「情報処理コース」は昼間はなかなか出席できないので、夜のコースを設定してもらつた。講師の先生方が大変よかつたと感じている。特にインターネット関係は、普段基本的なところを教えてもらう機会が少ない

ので、大変良かつたと思う。

野口武副理事長より「鍛金業は全国的に減少傾向にある。環境問題等の難問を抱えているので、アウェトサイダーをとりこんで業界のレベルアップを図るべく組合加入をPRしている。新規加入組合員も出てきた。又コース全体としては専門的にやるにはものたりないが、一般的レベルとしては良かつたと思う。」その後、佐藤統括所長より（独）雇用能力開発機構の「能力開発支援ツール」「能力開発セミナー」の概要について説明された。

6時より8時まで会場は雇用能力開発機構埼玉センターで開催され小林満専務理事より開会の挨拶のあと、（独）雇用能力開発機構業務一課桜井博行様より挨拶と受講についての注意事項等について話された。続いて丸山路世先生によりセミナーを開催した。

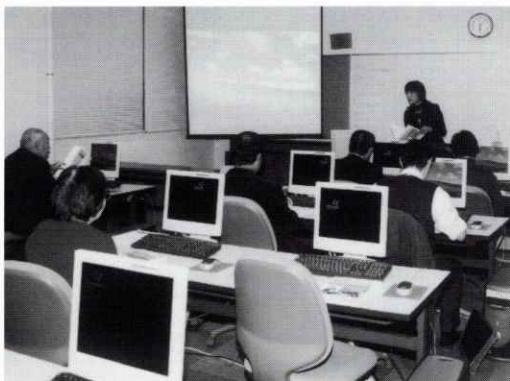
6時より8時まで会場は雇用能力開発機構埼玉センターで開催され小林満専務理事より開会の挨拶のあと、（独）雇用能力開発機構業務一課桜井博行様より挨拶と受講についての注意事項等について話された。続いて丸山路世先生によりセミナーを開催した。

14日、15日の両日はWord2003セミナーのテキストよりワープロ活用法I、ワープロ活用法

## 埼玉県鍛金業高度化研究会



(独)雇用能力開発機構業務第一課  
長中牟田誠様、業務一課桜井博行  
様には会場、講師の手配等お忙し  
い中大変お世話様になりました。



II) の文書の作成、編集等を学んだ。21日、22日の両日はインターネットということで申込者も若干ふえ、インターネットを体験しよう。電子メールを送ろうなどを研修した。講師の丸山先生の説明がたいへんわかりやすく、出席された皆様方に好評でした。

最終日には、アンケート用紙に全員記入し、セミナーを終了しました。

だ。21日、22日の両日はインターネットと申込者も若干ふえ、インターネットを体験しよう。電子メールを送ろうなどを研修した。講師の丸山先生の説明がたいへんわかりやすく、出席された皆様方に好評でした。

くださいました皆様には寒い中、仕事を終えてからの受講、ご苦労様でした。

厚くお礼申し上げます。又ご参加くださいました皆様には寒い中、仕事を終えてからの受講、ご苦労様でした。

#### 《ご出席者名》

第一支部

株真工社 中山安久

第6支部

株小林鍍金工業

小林満、小林年子

(有)ケーワムケー

柿沼信夫

仁科工業株

大塚千秋、小玉有里子

(有)小築鍍金工業所

小築憲一、小柴真弓

兼松精鍍工業有

島村学

第7支部

大塚鍍金工業所

大塚一弘、村田茂

川口ハードクロム工業(有)

松本晃彦

浅川経営労務管理事務所

浅川和昭

事務局

武井光枝、千藏和代

(順不同)

## 平成17年度 雇用管理実態調査及び経営者意識調査報告 第2種中小企業人材確保事業

平成14年度からの「第1種人材確保推進事業」は16年度で終了し、「第2種同事業」2年間の初年度を迎えました。

この事業内容の一環である事業主調査は意識の変化を確認する目的もあり、各項目内的一部設問を昨年と変更して調査しました。

そして第2部は「雇用管理実態調査」です。昨年度より回収率は向上し、53社からご回答を寄せられました。回収率52.4%です。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

### 第1種人材確保推進事業 第1部「事業主意識調査」

#### 1. 従業者（経営者を含む）の構成

規 模	性 別	役 員	正社員	パ ッ ト	嘱 託	派 遣	合 計
5人以下 5社	男 性	9	3	2	0	0	14
	女 性	2	3	0	0	0	5
	合 計	11	6	2	0	0	19
6~20人 27社	男 性	44	138	38	13	2	235
	女 性	27	29	31	0	0	87
	合 計	71	167	69	13	2	322

21～30人 12社	男性	28	160	16	9	5	218
	女性	9	36	29	2	3	79
	合 計	37	196	45	11	8	297
31～50人 2社	男性	7	58	5	8	3	81
	女性	2	5	3	0	0	10
	合 計	9	63	8	8	3	91
51人以上 7社	男性	32	401	88	9	35	565
	女性	3	122	105	2	32	264
	合 計	35	523	193	11	67	829
合 計 52社	男性	120	760	149	34	45	1,108
	女性	43	195	168	10	35	445
	合 計	163	955	317	44	80	1,559

## 2. 組合に加入の時期

15 年 以 内	15 年 以 上	設 立 以 来
4 社	29 社	20 社

## 3. 組合事業についてお伺いします。

3-(1) 今までの組合事業で有益と思われたもの、または興味があったものに○印をつけて下さい。 (いくつでも可) …多い順に列記しました。

①公害防止管理者研修会	39件	⑦共済事業（生命共済、自動車共済）	12件
②支部会活動	29	⑦新技術研修会	12
③健康診断	28	⑨理事会	11
③環境測定	28	⑩各種会議後の懇談会	6
⑤視察研修会	21	⑪部外（他団体主催の）研修会	4
⑥総 会	17	⑫雇用対策	3
⑦委員会活動	12	⑬パソコン研修会	2

## &lt;3-(1)項のコメント&gt;

支部会活動が活発であったためか、前年6位から2位に上がったのが特徴。他は順位が昨年度と殆ど変わらない。

3-(2) 今後どのような事業を望まれますか。

実施を望まれるものがありましたら、○印をつけて下さい。  
(いくつでも可) …多い順に列記しました。

①環境保全対策事業	28件	⑥経営研修会	13件
②労務管理研修会	16	⑦ISO取得研修会	10
③社員教育研修会	15	⑧財務管理研修会	7
④後継者育成研修会	14	⑨各種リクリエーション大会	4
④異業種交流会	14	⑩めつき技術研修会	1

注：〈教育訓練に関連する組合で取り組んで欲しいこと〉は、埼玉県に提出する第2部の(5)～(8)項、(15ページ) をも参照下さい。

## &lt;3-(2)項のコメント&gt;

今年度は組合事業で実施していない項目を重点に希望をとった。労務管理、社員教育研修会の希望が、昨年度より急増している。ヒト重視の現われか。

4. 以下の項目は、事業主（オーナー）様に直接伺います。

貴社の信条、あるいは重点経営方針をお聞かせ下さい。とくに該当するもの3つ以内を選んで下さい。多い順に整理しました。

順位	項目	件数	昨年度調査順位
①	品質第一	40 件	①
②	納期厳守	35	④
③	納期迅速	18	⑥
③	高付加価値化	18	③
⑤	新技術開発	17	⑪
⑥	人材育成	12	⑦
⑦	人材確保	9	⑧
⑧	現規模維持	8	②
⑨	定年後再雇用促進	7	⑫
⑩	新製品開発	5	⑫
⑪	福利厚生充実	4	⑫
⑫	能力成果主義導入	3	⑩
⑬	IT（情報技術）推進	2	⑯
⑭	採算第一	2	⑧
⑮	ISO（国際規格）取得	1	⑯

（注：昨年度調査では「高品質化」の項も設け、⑤位であった。）

<4. 項のコメント>

景気回復調を反映してか、昨年度同様に品質第一は①だが、納期厳守・納期迅速が②③に上昇し、現規模維持が昨年の②から今年⑧に、採算第一が⑧から⑭に落ちているのが顕著。

また、高付加価値化とともに、新技術開発が⑪から⑤に上昇し、意欲的に取組の傾向が現れている。

定年延長の法改正に伴い、定年後再雇用促進の⑫から⑨に上昇している。

5. 従業員に関してお伺いします。

5-(1) どのような幹部（片腕のような方）を求めておられますか？

（あるいは、幹部の育成重点をどこに置いておられますか？）

3つ以内を選んで下さい。多い順に整理しました。

■幹部（片腕のような方）に対して

①管理統率力	27 件	⑦安全管理知識	9 件
②問題解決能力	22	⑦対外折衝力（営業力など）	9
③部下統率力	17	⑨企画提案力	6
③リーダーシップ	14	⑨職場管理基礎知識	6
⑤職場改善力	12	⑪職場使命把握力	5
⑥部下育成力	11	⑫経営基礎力	4

<5-(1)項のコメント>

①から③の4件は、各調査年度で殆ど変わらない。幹部に求められる基本的な能力と捉えることができよう。但し、部下育成力は昨年度は3位であった。

そのために幹部（片腕のような方）に対して何をして（あるいは、しようとして）おられますか？

- ・経営知識や職場管理能力習得のため、社外教育研修に積極的参加を促す。
- ・社外研修等検分の広さを高める。
- ・めっきラインを任せて、品質・納期・新規部品の治具作成等を考えさせている。
- ・各種社外研修への参加を積極的に勧めている。
- ・新しい素材に取り組んでいる。
- ・仕事の配分と品質の責任。
- ・週に一度、改善や安全管理について話し合う場を設けている。
- ・得意先などとの付き合いに努めて同席・出席させている。
- ・職場の問題を迅速に解決するよう話し合いの場を設けている。
- ・他から仕入れた情報で、当社に導入したらと思うことを幹部に伝える。
- ・めっき業界紙を回し読みしている。
- ・問題点の対策会議に参加させる。
- ・信頼し、任せている。
- ・常に計画通りの生産が進むよう部下指導を指示している。

5-(2) どのような一般従業員を求めておられますか？  
 (あるいは、従業員の育成重点をどこに置いておられますか？)  
 3つ以内の該当する番号に○印をつけて下さい。

■一般従業員に対して

①技術・技能の向上	30件	④仕事の達成力	22件
②仕事の段取り	23	⑥礼儀（マナー）・服装	12
②改善・工夫力	23	⑦規則・規律	9
④報告・連絡・相談	22	⑧後輩の指導	8

<5-(2)項のコメント>

上位の5件は過去2年と同じ。礼儀・規則規律の件数が増加傾向。

そのために一般従業員に対して何をして（あるいは、しようとして）おられますか？具体的に記入下さい。

- ・与えられた仕事に責任感を持つこと。
- ・改善工夫の報奨制度の導入。
- ・社員研修受講、資格取得の支援奨励。
- ・現場長による指導、全体会議などで意識向上を呼びかける。
- ・疑問点や作業改善などの相談に乗り、技術・作業向上に役立てている。
- ・現場での指導徹底。個々の問題解決や改善を話し合う。
- ・安全職場であるよう、徹底を図る。
- ・創意工夫、整理整頓、不良発生時の迅速な報告など、対処法の徹底。
- ・品質に対する責任感。
- ・ISO承認事業所として、マニュアル化を進めていく。
- ・選別メンバーに、計画的に教育・育成を1年前から開始している。
- ・毎朝、急ぎの順に段取りして納期を守るよう指示指導。
- ・安全管理の徹底。全体のレクレーションや慰安旅行実施。
- ・自職場の責任と権限の意識づけ。
- ・黒板に社の重要方針や伝達事項、ポスターなど張り出して徹底。
- ・朝礼や適宜各種のミーティングで方針など徹底。
- ・問題が発生した時指導。
- ・上司の考えを理解し、段取り良く仕事が進行するよう指導。

## 第2部「労働直需給及び雇用管理状況調査」（埼玉県に提出用の調査）

1. 平成16年度（平成16年4月～17年3月）の従業員雇用に関して、記入下さい。  
 (調査票回収61事業所の合計人数)

常用従業員数（注1）	1,143人	求人數（注3）	新規学卒	13人
			中途採用	45人
退職した常用従業員数（注2）	117人	充足人數（注4）	新規学卒	10人
			中途採用	88人

※記入ナシ…社

- (注1) 平成17年4月1日現在の従業員数。常用・臨時を含む。  
 (注2) 平成16年4月～17年3月の1年間に退職した、常用・臨時の合計人数。  
 (注3) 平成16年4月～17年3月の1年間に採用したいと考えた人数。  
 (注4) 平成16年4月～17年3月の1年間に採用できた人数。

求人充足率	新規学卒者 17.2%	中途採用者 151.7%
-------	-------------	--------------

(求人充職率=求人充足数÷求人數×100)

離職率	10.2% (離職率=離職者数÷常用労働者数×100)
-----	-----------------------------

2. 雇用管理の状況について、以下お答え下さい。

- (1) 労働時間 以下の①、②、③について、該当する箇所に○印をつけて下さい。

①週休2日制（注：記入ナシ2社）

完全 週休2日	月3日 4週7休	月2日 4週6休	月1回 4週5休	記入なし
18社	11社	17社	2社	2社

②1週間の所定労働時間（取り決めている時間）（注：記入なし1社）

36時間未満	36時間以上 38時間未満	38時間以上 40時間未満	40時間
0社	5社	14社	31社

③年間総労働時間（1人平均。残業・休日出勤も含む）

3社	1800時間未満
19社	1800～2000時間未満
24社	2000～2200時間未満
3社	2200～2400時間未満
1社	2400時間以上

(記入なし3社)

- (2) 職場環境 改善の必要を認識している項目に○印をつけて下さい。

高 温	低 温	騒 音	振 動	臭 気
34	13	6	0	15
粉 塵	汚 れ	照 度	危 険	作業負担
6	17	2	3	15

(記入なし6社)

## (3) 福利厚生施設および福利厚生制度

保有または導入しているものに○印をつけて下さい。

社宅	独身寮	社員食堂	保健施設
2	7	29	3
託児施設	研修施設	体育施設	教養文化施設
0	3	1	1

(記入なし23社)

退職金制度	中小企業退職金共済制度	人間ドックの費用補助	企業内貯蓄制度	持家援助制度	社外の設備を利用する際の援助制度
28	27	10	3	8	6

(記入なし7社)

## (4) 募集・採用について

「採用計画」を作成していますか？

はい 13社	いいえ 34社	記入なし 6社
--------	---------	---------

## (5) 教育訓練

実施しているものに○印をつけて下さい。

21社	資格取得研修や通信教育など、自己啓発のための支援
17社	教育計画を立て実施する、現場での知識・技術・技能教育(OJT)
12社	仕事を離れて、講義や研修などを受けさせる集合教育訓練(offJT)
8社	自社あるいは他の団体などで、教育訓練の開発・実施
1社	有給教育訓練休暇制度の実施
1社	教育訓練のための施設・設備の設置
1社	他社などとの、人材交流制度の実施

(記入なし18社)

## (6) その他

雇用管理について実施しているものに○印をつけて下さい。

10社	65歳までの継続雇用（勤務延長・再雇用制度）
28社	60歳以上定年制
15社	再雇用制度（上記以外のもの）
0社	育児休暇制度・介護休暇制度

(複数回答あり)

(記入なし8社)

## (7) 高度な人材確保、そのことによる高付加価値化などへの取組、それに対する指導の状況について記入下さい。

- ・とくに指導はなく、各個人に任せている。
- ・教育訓練用施設利用の指導。
- ・当社に発注のメリットを客先が感じてもらうような製造現場の取り組み方指導を徹底。
- ・品質保持・納期管理を含む総合的サービスは、どうあるべきかを指導。
- ・冷凍機械技術実務。

## (8) 上記(7)項に関連して、組合で取り組んで欲しいことがあれば記入下さい。

- ・技術関係の研修会など。
- ・公害防止管理者（水質第2種）講習資格試験。
- ・めっき技能士訓練実習設備。
- ・大学研究室や技術総合センターとのさらなる連携を強めて欲しい。

## キャリア形成促進助成金

平成18年4月1日よりキャリア形成促進助成金の内容が一部変更となります。

### 変更前

- 訓練給付金
- 職業能力開発休暇給付金
- 長期教育訓練休暇制度導入奨励金
- 職業能力評価推進給付金
- キャリア・コンサルティング推進給付金

### 変更後

- 訓練給付金
- 職業能力開発支援促進給付金
- 職業能力評価推進給付金
- キャリア・コンサルティング推進給付金

### 概要

事業主（雇用保険の適用事業の事業主に限ります。）が、従業員のキャリア形成のために教育訓練等を実施すると、教育訓練等に係る経費や訓練期間中の賃金が一部助成されます。

### 支給要件について

助成金の申請には、事前に「事業内職業能力開発計画」及び「年間職業能力開発計画」を作成し、受給資格認定を受けることや教育訓練期間中においても従業員に賃金を支払っていること等の各種要件がありますので、詳しくは、最寄りの独立行政法人雇用・能力開発機構都道府県センターまでお問い合わせください。

独立行政法人

## 雇用・能力開発機構

ホームページ <http://www.ehdo.go.jp>

【お問い合わせ先】埼玉センター・キャリア形成促進助成金担当

TEL. 048-882-4101



会曲輪支部より感謝状を受けた。  
これからもお元気で御活躍をお祈りいたします。

第7支部株ダイコー代表取締役  
下村恒夫氏は、少しでも町内のお役に立てばとの思いから御神輿を作り町内に寄贈した。御神輿の飾りものは自社で金めっきしたあと、焼付塗装し仕上げたもの。

長年の功績により、まつり親睦

第7支部株ダイコー代表取締役  
下村恒夫氏

## 御神輿寄贈

■ 計報

清水豊成さん

興和電化工業有取締役会長

第2支部組合元理事  
平成17年12月20日逝去

享年72歳

謹んでご冥福をお祈りします。

## 編集後記

※表紙写真の解説

第3回ふかや花フェスタが開催

新深谷市誕生記念事業として4月29日、30日深谷城址公園ほかで開催された。

30日は「ガーデニング・デモンストレーション」や花、植木「せり市」も開かれ、花好きの人々でぎわいを見せた。

新「深谷市」は平成18年1月1日、旧深谷市、旧岡部市、旧川本町が合併し誕生しました。

た。